

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東
コード番号 7138 URL <https://www.torico-corp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 拓郎
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理部長 (氏名) 中道 智宏 (TEL) 03-6261-4346
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,883	△19.0	△96	—	△98	—	△145	—
2023年3月期第2四半期	2,325	—	51	—	51	—	36	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △142百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 36百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△119.60	—
2023年3月期第2四半期	29.68	27.05

(注)1. 2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません

2. 2024年3月期第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,051	1,023	49.8
2023年3月期	2,247	1,164	51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,021百万円 2023年3月期 1,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,465	9.2	55	△57.2	51	△60.5	34	△54.1	27.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	1,258,100株	2023年3月期	1,242,820株
2024年3月期2Q	33,804株	2023年3月期	23,400株
2024年3月期2Q	1,213,985株	2023年3月期2Q	1,229,523株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報(<https://www.torico-corp.com/ir/>)で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが第5類へと引き下げられ、コロナ禍による経済社会活動への制約がほぼ解消され、内需を中心に景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、グローバルでの地政学リスクやインフレなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。

当第2四半期連結累計期間の当社グループ主力のECサービスの属する市場環境においては、アフターコロナでの行動制限の緩和と共に外出を伴う消費行動が正常化に向かう一方で、相対的に巣ごもり需要が完全に終息したこと及び物価や電気代の上昇等が消費者の家計を圧迫している状況等から、出版流通業界全体において市場規模が前年比を大きく下回る状況が当第2四半期連結累計期間も継続している状況です。

公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所が発刊している出版指標2023年秋号によると、当第2四半期連結累計期間にあたる2023年4月～2023年9月の書籍雑誌推定販売金額は前年同期比6.2%減となっており、当社グループが属する紙コミックス市場も当第2四半期連結累計期間の前年同月比の実売金額が6か月連続でマイナス(4月は前年同期比で16%減、5月は同11%減、6月は同12%減、7月は同1%減、8月は同15%減、9月は同5%減)の状況となっております。足元での市場全体の減少幅は落ち着きつつある傾向も見受けられますが、特に当社グループは、漫画を原作とするアニメ・映画等のメディア化によるヒット作品の有無による影響を受けやすい漫画の全巻売りサービスを主力サービスとして展開しているため、当第2四半期連結累計期間においては、大型ヒット作品に乏しい状況と重なった事で、市場全体の減速以上に当社グループの売上減収幅が拡大する要因となったと捉えております。

このような状況下において、当社グループではECサービスにおける国内での漫画全巻売りサービスの売上減少に少しでも歯止めをかけるべく各種の販売促進策を行う一方で、新たな成長サービスの柱とするべくイベントサービスの国内外での拡大に努めてまいりましたが、売上減速の影響を補うまでには至らない状況となっております。

主力ECサービスの主要なKPIについては、当第2四半期連結累計期間(4月～9月)を通しての、同サービスのECサイトに訪れるユーザー数は12.3百万人(前年同期間10.3百万人、前年同期比19.0%増)となり、サービスの認知の向上については改善が図れております。一方で、ECサービスの購買率については0.71%(前年同期間1.51%、前年同期比0.8pt減)と前年同期と比較して低下が続いており、コロナ禍での巣ごもり需要と「鬼滅の刃」をはじめとしてコミック原作アニメの爆発的な需要上昇が開始された2020年以前と同等の水準へ戻っており、当第2四半期連結累計期間における売上減収となったと考えております。また、顧客単価は8,232円(前年同期間9,885円、前年同期比16.7%減)と漫画原作作品の早期メディア化(コミックの発行巻数が少ない段階でのメディア化)の傾向が購買単価の減少にも表れており、この単価の下落も売上減収の一因となっております。このような背景の結果、当第2四半期連結累計期間における同サービスの売上高は、前年同期比で22.4%減となりました。

一方で、当社グループが今後の成長サービスとして位置付けるイベントサービスについては、当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では営業開拓人材の補強を行うと共に有力IPの開拓を進め、グッズ製造体制の強化を並行して行いながら、IP商品化と関連グッズの製造販売の推進を行いました。また海外市場に向けては前期に進出した台湾店舗の売上が拡大しつつある中で、シンガポール市場への参入を行い、その他欧米、中国への越境ECの開店準備を行っております。また商品戦略におきましても、商材の幅を広げ海外市場向けにフィギュアやトレーディングカードの取り扱いを開始致しました。このような取り組みの結果、同サービスの売上高は、前年同期比で26.5%増と成長を継続しました。

上記の施策の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,833,241千円(前年同期比19.0%減)営業損失は96,174千円(前年同期は51,625千円の営業利益)、経常損失は98,715千円(前年同期は51,244千円の経常利益)となりました。また、当第2四半期連結累計期間において、繰延税金資産を取崩したことに伴い法人税等調整額(損)38百万円を計上したこと等により、四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失は145,192千円(前年同期は36,489千円の四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,051,652千円(前連結会計年度末比195,736千円減)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,813,505千円(前連結会計年度末比261,023千円減)、固定資産が238,147千円(前連結会計年度末比65,286千円増)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動資産は、取引の減少及び本社・倉庫の移転費用の支出等に伴い現金及び預金が381,841千円減少したこと、一方で第3四半期以降の需要増加に向けた在庫準備で商品が43,921千円増加したこと、売掛金が44,687千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は、本社・倉庫の移転及びイベントサービス拡大の為の設備投資の実施で有形固定資産が30,252千円増加したこと、自社サービス関連の開発活動の実施でソフトウェア仮勘定等が増加したことにより、無形固定資産が7,681千円増加したこと、本社・倉庫の移転に伴い差入保証金等が増加したことにより投資その他の資産が27,352千円増加したこと、繰延税金資産が38,973千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,028,196千円(前連結会計年度末比54,256千円減)となりました。負債の内訳は、流動負債が660,395千円(前連結会計年度末比5,172千円減)、固定負債は367,801千円(前連結会計年度末比49,084千円減)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動負債は、取引の減少により買掛金が25,534千円減少したこと等によるものであります。固定負債は、借入金の返済により長期借入金が54,123千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,023,455千円(前連結会計年度末比141,480千円減)となりました。主な変動要因は、新株予約権(ストック・オプション)の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,684千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が145,192千円減少したこと、自己株式の取得により純資産が13,722千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、381,841千円減少し、680,406千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、226,777千円(前年同四半期は18,788千円の使用)となりました。これは、減価償却費13,137千円等による資金の増加と、税金等調整前四半期純損失105,085千円、売上債権の増加44,687千円、棚卸資産の増加43,731千円、仕入債務の減少25,556千円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、77,810千円(前年同四半期は22,463千円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出17,513千円、無形固定資産の取得による支出11,128千円、差入保証金の差入による支出52,079千円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、80,154千円(前年同四半期は330,426千円の獲得)となりました。これは、長期借入金の返済による支出52,957千円、自己株式の取得による支出37,737千円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間時点での進捗状況は当該予想を下回って推移しておりますが、第3四半期の年末商戦を含めた進捗状況を見極めた上で通期業績の着地見込みを判断致したく、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,062,248	680,406
売掛金	322,080	366,768
商品	635,644	679,566
その他	58,119	89,240
貸倒引当金	△3,564	△2,476
流動資産合計	2,074,529	1,813,505
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	35,710	40,310
その他（純額）	22,737	48,390
有形固定資産合計	58,447	88,700
無形固定資産		
その他	41,210	48,891
無形固定資産合計	41,210	48,891
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,973	—
その他	34,228	100,554
投資その他の資産合計	73,201	100,554
固定資産合計	172,860	238,147
資産合計	2,247,389	2,051,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	312,053	286,518
1年内返済予定の長期借入金	106,497	107,663
未払金	124,251	165,563
契約負債	44,676	41,890
未払法人税等	6,303	4,766
その他	71,786	53,993
流動負債合計	665,567	660,395
固定負債		
長期借入金	416,106	361,983
資産除去債務	779	787
その他	—	5,031
固定負債合計	416,885	367,801
負債合計	1,082,453	1,028,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	183,217	188,901
資本剰余金	513,909	522,792
利益剰余金	491,682	346,489
自己株式	△26,854	△40,577
株主資本合計	1,161,954	1,017,606
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	735	3,602
その他の包括利益累計額合計	735	3,602
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	1,164,935	1,023,455
負債純資産合計	2,247,389	2,051,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,325,389	1,883,241
売上原価	1,507,556	1,203,233
売上総利益	817,833	680,008
販売費及び一般管理費	766,208	776,182
営業利益又は営業損失(△)	51,625	△96,174
営業外収益		
受取利息	3	16
受取配当金	1	1
コイン失効益	1,442	1,653
その他	661	627
営業外収益合計	2,108	2,298
営業外費用		
支払利息	2,051	3,645
その他	437	1,193
営業外費用合計	2,489	4,839
経常利益又は経常損失(△)	51,244	△98,715
特別利益		
固定資産売却益	—	136
特別利益合計	—	136
特別損失		
固定資産除却損	—	2,126
事務所移転費用	—	4,380
特別損失合計	—	6,506
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,244	△105,085
法人税、住民税及び事業税	11,960	1,133
法人税等調整額	2,795	38,973
法人税等合計	14,755	40,106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,489	△145,192
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	36,489	△145,192

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,489	△145,192
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	2,867
その他の包括利益合計	—	2,867
四半期包括利益	36,489	△142,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,489	△142,324

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,244	△105,085
減価償却費	8,969	13,137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△877	△1,087
受取利息及び受取配当金	△4	△17
支払利息	2,051	3,645
固定資産除売却損益(△は益)	—	1,989
売上債権の増減額(△は増加)	72,024	△44,687
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,716	△43,731
仕入債務の増減額(△は減少)	△95,093	△25,556
その他	8,528	△20,720
小計	53,559	△222,113
利息及び配当金の受取額	4	17
利息の支払額	△2,557	△3,441
法人税等の支払額	△69,795	△1,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,788	△226,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,928	△17,513
有形固定資産の売却による収入	—	136
無形固定資産の取得による支出	△18,534	△11,128
差入保証金の差入による支出	—	△52,079
差入保証金の回収による収入	—	2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,463	△77,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△13,536	△52,957
株式の発行による収入	43,962	11,368
自己株式の取得による支出	—	△37,737
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△827
財務活動によるキャッシュ・フロー	330,426	△80,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2,900
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289,173	△381,841
現金及び現金同等物の期首残高	737,259	1,062,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026,433	680,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。